

2009年8月27日の図書館協議会で出された

中央図書館移転に当たっての意見、要望と回答

(打越まとめ)

## 1 周辺環境への不安

2階の「アスリエ」はともかく、3階にゲームセンター「スーパードキドキキューケット」、3階の一部と4階が映画館「シネマックス」で、アネックス全体は「娯楽棟」だと認識している。1階あるいは2階の入口を入ると、玄関ホールにはゲームセンターの音が響き、いかにも遊技場という雰囲気が漂う。実際、エスカレーターで3階に着くと、そこにはゲームの機械が並び、音を隔てるものは何もない。小学生が「図書館に行きます」と行った時、「はい、行ってらっしゃい」と送り出せるようであれば、親は安心できない。玄関でゲームの音がすれば当然誘惑されるし、ゲームセンターの周辺では、ゲームでお金を使い果たした者が通りがかった弱者を脅して金を奪う、いわゆる「カツアゲ」が発生しやすいことも懸念される。図書館内が「たまり場」になることもあり得る。

→ ゲームセンターは、風俗営業法における「遊技場」にあたり、図書館から50メートル以内には設置できない施設だが、こちらが後から入るので、現在の業者に出て行ってもらうことはできない。今後、経営者が変わるだけでも許可が下りなくなるので、いずれはなくなることも考えられる。青少年健全育成の観点からは、若者がゲームセンターの帰りに図書館を利用するなら、悪いことではないと思う。

1階の騒音を測ったところ、最大67デシベルだった。二重ガラスを採用すれば、館内は基準値の45デシベル以下にできる。

## 2 規模が小さくなることについて

現在の中央図書館よりも延床面積が小さくなるのでは、図書館機能が低下するのではないか。中央図書館として場所を新しくするなら、当然求められる機能があるはず。一定の蔵書数を確保する書棚・書庫、ゆとりある事務スペース、視聴覚機材を備えたイベントルーム、対面朗読室、幼児・児童・生徒・学生・一般の閲覧スペース、インターネット利用スペース、視聴覚資料の視聴スペース、ボランティア用の部屋など。たとえその全てがかなわなくても、現在よりもサービス低下になることは許されない。書庫がないからすぐに資料を出せない、というのでは、中央図書館として大きな後退ではないか。

→ 限られたスペースをできるだけ開架したいので、閉架書庫は持たないことにする。新しい図書館は一般に書棚を低くするが、蔵書数を現在並に確保するため書棚は現在のよう高いものを考えている。その分空間にゆとりを持たせたい。閲覧スペースは充分りたいが、学生席は窓際に少量だけになると思う。インターネットのスペースは無理だろう。新聞報道の開架面積1070㎡は延床面積の間違いで、実際の開架面積は800㎡程度になるが、いずれにせよ現在の開架面積670㎡よりは広い。検索機で探して予約してもら

い、受け取るという方法が多くなると思う。予約本の取り置きスペースは広く必要だと思う。中央図書館としての事務は、ここで行う。書庫については、川里が使えればと考えている。その場合は、その本は川里図書館に移管するかもしれない。書棚は新規購入するが、それほど高いものは無理。スチールになるだろう。現在本の受け取りができる「エルミこうのす」4階の行政サービスセンターは廃止し、中央図書館内に職員1名の体制にする予定だが、その面積はわずかとするつもり。

### 3 駐車場、駐輪場、徒歩でのアクセス

アネックスの駐車場は平日でもしょっちゅう満車で、駐輪場は不十分。本館駐車場も低い階は定期利用者があるため、空いているのはたいてい6階以上で、入口から駐車するまでに数分かかる。しかも、駐車料金を気にしなければならない。現在アネックスの施設利用者は3時間までの駐車は無料だが、図書館利用者の駐車料金はどうするのか。また、駐輪場は現在4時間まで無料だが、台数が足りないのではないか。

「エルミこうのす」本館とアネックスとの間にある歩道橋には屋根がない。また駅からは、本館の中を歩いてビルの反対側に出て、駐車場脇に沿って行くことになる。車椅子利用者やベビーカーには、簡易なものでも屋根の設置が望まれる。

→ 駐車料金の負担については、今後検討していく。他市では、原則として有料で30分無料券を発行するとか、1時間までは無料などの例がある。アネックス駐車場に図書館専用部分を設けることはできると思う。

### 4 安全の確保

わかりやすい非常口はもちろん、洗面所、棚の裏など、廊下や階段も含めて死角が少なくなるようにすべきだ。棚が高いと資料の切り取りや置き引きが、増えるのではないか。資料の持ち去り対策はどうか。見通しの良い吹上図書館でさえ、トイレでの痴漢や盗撮の疑いの訴えがある。トイレの防犯、具合が悪くなった人のための緊急ブザー設置も必要。

→ 非常口は、駐車場側になる。窓側には出口はない。面積を広げるためにできるだけ共用部分をつぶしたが、防火シャッターが正常に作動するように規制がかかったくらいだから、ビルとしての防災体制はきちんとしている。

館内には、防犯カメラを設置し、資料にはICタグを導入する予定。ICタグは初期コストはかかるものの、年間の資料盗難金額に比べれば、ランニングコストはずっと安いので、今回ぜひ3館そろって導入したい。

トイレはビル共用のもので、図書館が設置することはない。緊急時には、駐車場奥にある管理室から、警備員が駆けつけることになっている。図書館職員は関知しない。図書館としての警備は、現図書館でも夜間警備会社に依頼しているので、必要に応じて考える。

## 5 子どもに対する配慮

ワンフロアなので子どもコーナーの音が響きやすいと思われる。大人が落ち着ける空間も確保したいので、子どもコーナーは独立させられないか。できれば読み聞かせができる小さな空間があるといい。また、トイレは館内には設けないとのことだが、数も少ないことだし、幼児用だけでも何とかできないか。本を読む前に手を洗う場所も必要。

→ 汚水処理の問題があるので館内のトイレ設置は難しいと思うが、たしかに幼児にとってトイレまでの距離が遠いかもしれない。子どもコーナーは仕切る予定。広さについては今後検討していく。

## 6 その他

今回の中央図書館移転の話は、決して図書館のあるべき姿を考えて決めた話ではなく、保留床の使いみちとして最も適しているというだけのこと。図書館協議会委員の不信感、不満はそこにある。「エルミこうのす」ができるときも、それ以前の「クレアこうのす」ができるときも図書館が顧みられなかったことは、みんな残念に思っている。以前から夢だった「駅前に図書館ができる」ことの喜びはあるし、多くの市民も喜ぶと思うが、それがご都合主義の産物で、設計も拙速なのでは困る。

図書館設計の経験豊かな設計業者を選び、もっと時間をかけて、利用者の声、現場職員の声を充分吸い上げて、最善を尽くしてほしい。今日この協議会で話したからといって「これで市民の声を聞きました」ということに終わらせないで欲しい。図書館関係の団体や利用者の声は他にもあるはずだ。

財源については、借金となるのか。財政は大丈夫なのか。

図書館職員がこの年度末にかけて体を壊さないように、業務の増加にちゃんと対応できる体制を。また、図書館のプロであるベテラン司書の経験と知識を充分生かして欲しい。

→ 「エルミこうのす」4階に図書館を設置するために図面まで用意したことを考えると、あの時は残念だったが、その計画があったからこそ今回保留床を図書館に、という話が出たのだと思う。だから、あの動きは無駄ではなかった。

すでに議会に議案が上程されているので、計画全体を遅らせることは困難だが、できるだけ良い図書館になるよう努力していく。実際には4月1日開館は無理だと思っているが、新年度のできるだけ早い時期に開館したい。

8億4000万円の財源は、まちづくり交付金がどのくらい下りるかによる。他に、合併特例債も使う。一般財源からは、保留床取得部分2600万円と設計費1500万円の予定なので、市の負担はそう多くない。もちろん借金となるが。

降って湧いたような話に職員一同驚いたが、これをチャンスと前向きに捕らえて、一層充実した図書館を作っていく。